令和８年度京都市環境基本計画市民アンケート調査業務委託
仕様書

環境政策局環境企画部環境総務課
（担当：高橋、竹内　電話：075-222-3450）

１　目的

京都市では、「京都市環境基本計画（2026～2030）」の進行状況を点検・評価するため、アンケート調査により市民の実感度を把握して評価する「主観的指標」を設定している。

本件は、主観的指標及び主観的指標の結果を分析・評価するための補足項目についてのアンケート調査（インターネット・モニター調査）を委託するものである。

２　業務委託内容

⑴　アンケート調査の実施

以下のとおり、アンケート調査を実施すること。

ア　調査対象

京都市内在住の市民

イ　回答数

1,000 人

※　アンケート回答者が、最新の「京都市住民基本台帳人口」に基づく、行政区別の性別及び年代の構成比（契約時の最新値）に近い割合となるよう、可能な限り工夫すること。

【京都市住民基本台帳人口は「京都市統計ポータル」のホームページ参照】

（URL）http://www2.city.kyoto.lg.jp/sogo/toukei/Population/index.html

ウ　調査方法

インターネット・モニター調査

エ　アンケート調査の設問項目

別紙のとおり

※　別紙の質問内容及び選択肢については、一部修正する場合がある。

（調査項目数については３問を上限に増減する可能性があります。）

⑵　アンケート調査結果の集計及び図表化

２⑴のアンケート調査結果について、質問項目ごとに集計し、円グラフ等、図表化すること。

また、No.1～No.54 の各質問項目に対して、「基本事項の No.2（年齢）」、「基本事項の No.4（居住人数）」、「基本事項の No.5（居住構造）」及び「基本事項の No.6（環境関心度）」（別紙参照）の４つの質問項目について、クロス集計を行い、図表化すること。

さらに以下の項目については、上記に追加してクロス集計を行うこと。

- 「補足項目の No.２１（空気・河川がきれいと感じない理由）」に対しては、前問「主観的指標の No.２０（空気・河川のきれいさ）」についてもクロス集計を行い、図表化すること。
- 「補足項目の No.３９（プラスチック類を分別しない理由）」に対しては、前問「補足項目の No.３８（プラスチック類の分別割合）」の「ほぼ全てを分別している」という回答、それ以外の回答に分けてクロス集計を行い、図表化すること。
- 「補足項目の No.４１（充電式の電化製品を分別しない理由）」に対しては、前問「補足項目の No.４０（充電式の電化製品の分別割合）」の「ほぼ全てを分別している」という回答、それ以外の回答に分けてクロス集計を行い、図表化すること。

３　成果品

４に記載の納入期限までに、以下の成果品を提出すること。

⑴　２⑵について取りまとめた報告書（冊子３部）

⑵　本業務において収集・作成した電子データ（PowerPoint、Excel 等）一式（CD１部）

※　電子データについては、必ずウイルス対策を行うこと。

４　契約期間

契約日の翌日から令和９年３月１５日（月）まで

＜今後のスケジュール＞

令和９年１月中　　委託業者との調整

２月上中旬　調査実施（調査期間：２月第１週目から２週間程度）

３月１５日　検収及び納入（納入期限）

５　留意事項

⑴　業務の実施に当たっては、本市担当職員と十分に協議すること。

⑵　本仕様書に定めのない事項又は本仕様に関し疑義が生じたときは、両者協議のうえ、これを定め、協議が整わない場合は本市の定めるものとする。

⑶　アンケート調査結果の捏造等がないように適正に実施すること。受託者とアンケート回答者の取り決め事項を侵さない範囲で、データの収集方法に係る作業工程について、本市担当職員が聞き取り調査を実施する場合がある。

⑷　本業務において収集・作成したもの等の成果は京都市に帰属するものとする。

【参考】京都市環境基本計画（2026～2030）

（URL）http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000195329.html

		アンケート調査設問項目	
No.		設問内容	選択肢
基本事項	1	あなたの性別をお答えください。	・男 ・女 ・答えたくない
基本事項	2	あなたの年齢をお答えください。	・15歳～19歳　・20歳代　・30歳代　・40歳代　・50歳代　・60歳代　・70歳代
基本事項	3	住んでいる行政区を教えてください。	・北区　・上京区　・左京区　・中京区　・東山区　・山科区　・下京区　・南区　・右京区 ・西京区　・伏見区
基本事項	4	あなたは何人で住んでいますか。	・一人で住んでいる ・二人で住んでいる ・三人で住んでいる ・四人で住んでいる ・五人で住んでいる ・六人以上で住んでいる
基本事項		あなたは学生ですか。	・はい ・いいえ
基本事項		世帯年収	※アンケート会社保有のデータで確認する仕様とするので質問項目としては不要
基本事項	5	住んでいる建物の構造を教えてください。	・木造の共同住宅（アパート、マンション、学生寮、社員寮など） ・鉄筋・鉄骨コンクリート造の共同住宅 ・木造の一戸建 ・鉄筋・鉄骨コンクリート造の一戸建 ・その他（自由記述）

No.		設問内容	選択肢
基本事項	6	環境保全や環境問題に対して関心がありますか。	・とてもある ・どちらかと言えばある ・どちらかと言えばない ・全くない
基本事項	7	「環境保全や環境問題に対して関心がない」とお答えいただきましたが、その理由を全て選んでください。 ※　No.6の質問で「どちらかと言えばない」、「全くない」と回答された方のみ	・何をすればいいかわからない ・自分の生活にあまり関係ないと感じる ・仕事や生活が忙しくて余裕がない ・自分1人がやっても意味がない気がする ・手間や費用がかかりそう ・特に理由はない ・その他（自由記述）

No.		設問内容	選択肢
		これからの質問は、京都市の環境や京都市内で行っている取組に対して、普段の暮らしの中であなたにあてはまることをお答えください。	
主観（新計画）	8	あなたは、京都の身近な自然環境が守られ、受け継がれていると感じますか。	・そう感じる ・どちらかと言えば、そう感じる ・どちらかと言えば、そう感じない ・そう感じない ・分からない
	9	そのように感じる理由として、最も近いものを1つ選んでください。	・自然を大切にしようとする人々の意識が高くなっている ・自然環境を豊かにする取組が進んでいる ・自然環境を大事にする暮らしが継承されている ・京都の自然を脅かす気候変動が進行している ・京都の自然を脅かす開発が進行している ・森林や里山に手が行き届かなくなっている ・日々の生活で自然に目を向ける機会がなくなっている ・身の回りに身近な自然環境がない ・京都の自然環境について判断する情報がない ・京都の自然環境について興味がない ・その他（自由記述）
主観（旧計画）	10	豪雨や熱中症など地球温暖化の影響と思われる危機が、自分たちの生活に迫りつつあると感じますか。	・そう感じる ・どちらかと言えば、そう感じる ・どちらかと言えば、そう感じない ・そう感じない ・分からない

No.		設問内容	選択肢
主観（新計画）	11	地球温暖化対策として、京都市において省エネルギーや太陽光発電などの再エネ導入が進んでいると感じますか。	・そう感じる ・どちらかと言えば、そう感じる ・どちらかと言えば、そう感じない ・そう感じない ・分からない
補足	12	住宅で省エネ改修等を行ったものについて、あてはまるものを全て選んでください。	・屋根の断熱改修 ・壁の断熱改修 ・窓のペアガラス化（内窓設置を含む） ・玄関を断熱扉に変更 ・エコキュート、エコジョーズなどの高効率な給湯器の設置 ・LED照明の設置 ・HEMS（ヘムス）の設置 ・上記の改修等を行っていない
補足	13	今後、買い換え又は新たに購入を検討しているものを全て選んでください。	・エアコン ・冷蔵庫 ・テレビ ・シャワーヘッド ・給湯器 ・温水洗浄便座 ・LED照明 ・省エネ認定住宅（長期優良住宅、低炭素住宅、ZEHなど） ・省エネ改修工事（断熱改修など） ・次世代自動車（ハイブリッド車、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車） ・上記のものの買い替えを検討していない~~を買い替えていない~~
補足	14	家庭での再生可能エネルギーの利用について、あてはまるものを全て選んでください。	・太陽光発電パネルを設置している ・蓄電池（定置型）を設置している ・V2H（電気自動車から家に電気を供給する機器）を設置している ・太陽熱温水器を設置している ・電力会社の再生可能エネルギー100%プランを契約している ・電力会社の再生可能エネルギー割合の高いプラン（100%以外）を契約している ・その他の再生可能エネルギーを利用している ・利用していない

No.		設問内容	選択肢
主観（旧計画）	15	徒歩や自転車、公共交通機関優先の取組が進んでいると感じますか。	・そう感じる ・どちらかと言えば、そう感じる ・どちらかと言えば、そう感じない ・そう感じない ・分からない
補足	16	次世代自動車（電気自動車やプラグインハイブリット車等）の普及が進んでいると感じますか。	・そう感じる ・どちらかと言えば、そう感じる ・どちらかと言えば、そう感じない ・そう感じない ・分からない
補足	17	地球温暖化対策に取り組むことによって、あなたの生活の質が向上し、豊かになると思いますか。	・そう感じる ・どちらかと言えば、そう感じる ・どちらかと言えば、そう感じない ・そう感じない ・分からない

No.		設問内容	選択肢
補足	18	地球温暖化対策にこれまで取り組んだ中で、あなたの生活の質が良くなったと感じることを全て選んでください。	・省エネ家電に買い替えたり、節電したことで光熱費が減った ・太陽光発電設備を導入したことで光熱費が減ったり、収入が増えた ・エコカーに買い替えたことで維持費用が安くなったり、ドライブが楽しくなった ・LED照明に交換したことで光熱費が減ったり、交換の手間が減った ・お風呂や窓などをの断熱リフォームをしたことで光熱費が減ったり、快適になった ・徒歩や自転車の利用を増やしたことで、体調が改善した ・生ごみの堆肥化、使い捨てプラスチックやペットボトルの利用を減らしたことで、ごみが減った ・緑を増やし、地域の自然に親しんだことで、心が安らいだ ・気候変動の影響から生命や地域を守る活動に貢献したと感じることで、幸福感や自己肯定感が向上した ・地元でつくられた旬の食材を食べて満足した ・地球温暖化対策に取り組んだが、生活の質が良くなったと感じない ・地球温暖化対策に取り組んでいない ・その他（自由記述）
補足	19	あなたが気候変動・地球温暖化対策のために取り組むにあたって、わからないと思っていることがあれば、あてはまるものをすべて選んでください。	・何に取り組めばよいかわからない ・どの程度取り組めばよいのかわからない ・自分の行動の効果がわからない ・どうして自分が取り組まなければならないかわからない ・CO2を減らすことが無駄ではないことがわからない ・京都市が目指す2050年脱炭素社会の姿がわからない ・その他

No.		設問内容	選択肢
主観（旧計画）	20	京都市の空気や河川の水は公害がなくきれいに保たれていると感じますか。 ※　公害…企業の事業活動や人の活動によって、水や空気の汚染・騒音などが起き、人の健康や生活環境に被害が出ること。	・そう感じる ・どちらかと言えば、そう感じる ・どちらかと言えば、そう感じない ・そう感じない ・分からない
補足	21	「空気や河川の水がきれいに保たれていないと感じる場合、その理由を全て選んでください。 ※　No20 の質問での回答によるクロス集計を行う。	・川の水が、雨の影響ではなく、よく濁っているから ・川にごみが流れているから ・川の水から、不快な臭いがするから ・洗濯物や窓などに汚れが付くから ・工場などの事業所からの排気ガスから、不快な臭いがするから ・自動車などの車両からの排気ガスから、不快な臭いがするから ・畑などの野焼きのけむりから、不快な臭いがするから ・その他（自由記述）

No.		設問内容	選択肢
主観（旧計画）	22	自然環境と調和した文化や暮らし※が広がっていると感じますか。 ※自然環境と調和した文化や暮らしの例 　自然環境と調和した祭事や華道・茶道などの伝統文化、京野菜や地場の食材を活かした食文化、三山三川などの豊かな自然と歴史的資産や風情ある街並みが調和した景観、庭や公園など身近な自然がある暮らしなど	・そう感じる ・どちらかと言えば、そう感じる ・どちらかと言えば、そう感じない ・そう感じない ・分からない
補足	23	「自然環境と調和した文化や暮らしが広がっていると感じる」とお答えいただきましたが、その理由を全て選んでください。 ※　No.22の質問で「そう感じる」、「どちらかと言えば、そう感じる」と回答された方のみ	・「もったいない」、「しまつのこころ」などの物を大切にする精神文化 ・打ち水、門掃きなどの快適な暮らしを保つための生活文化 ・自然環境と調和した祭事や華道・茶道などの自然を感じる伝統文化 ・京野菜など地場の食材を活かした食文化 ・町家、木造建築などの住文化 ・三山三川などの豊かな自然と、歴史的資産や風情ある町並みが調和した景観 ・庭や公園の植栽などの身近な自然がある暮らし ・その他（自由記述）
主観（新計画）	24	多様な生きものが生息する良好な自然環境が保たれていると感じますか。 ※生きもの…動物、植物、菌類など	・そう感じる ・どちらかと言えば、そう感じる ・どちらかと言えば、そう感じない ・そう感じない ・分からない

No.		設問内容	選択肢
補足	25	「多様な生きものが生息する良好な自然環境が保たれていると感じない」とお答えいただきましたが、その理由を全て選んでください。 ※ No.24の質問で「そう感じない」、「どちらかと言えば、そう感じない」と回答された方のみ	・生きものを目にする機会が少ないから ・生きものの生息・生育地が少ないから ・森林や里山が荒廃しているから ・外来生物が増加しているから ・桜の開花や紅葉の季節が変化するなど、地球温暖化が進行しているから ・多様な生きものが生息する良好な自然環境についての情報が得られないから ・生きものに興味がないから ・その他（自由記述）
主観（新計画）	26	日々の暮らしや余暇の中で、自然を身近に感じる（植物や虫の音の変化で四季を感じる、河川敷や緑のある場所に出かける、花を生けるなど）機会がありますか。	・とてもある ・時々ある ・あまりない ・全くない
補足	27	私たちの暮らしや経済活動は、多様な生きものから受ける恵み（安定した気候を生み出す、燃料や食料・木材などの供給、雨水の浄化や自然災害を弱める、安らぎやレクリエーションを与えるなど）により支えられていると感じますか。	・そう感じる ・どちらかと言えば、そう感じる ・どちらかと言えば、そう感じない ・そう感じない ・分からない

No.		設問内容	選択肢
補足	28	生物多様性を守るために、取り組んでいることを全て選んでください。	・生物多様性について、学習や情報発信を行う （例：動物園や水族館、植物園、環境学習施設（京ｴｺﾛｼﾞｰｾﾝﾀｰ、さすてな京都）を利用する 生物多様性について学習する 発見した生きものの情報を共有する　など） ・暮らしの中で生物多様性に配慮する （例：野生鳥獣には餌を与えない ペットは最後まで責任を持って飼育し、捨てたり放したりしない 環境に配慮した商品・サービスを利用・消費する　など） ・自然や生きものと触れ合う、緑を育てる （例：エコツーリズムやグリーンツーリズム、自然観察会に参加する 庭先や生垣、ベランダ、壁面などを緑化する　など） ・生きものや自然を保全する、保全活動を支援する （例：生きものの生息場所を保全する、生物多様性の調査に参加する 生物多様性保全活動に寄付する　など） ・その他（自由記述） ・取り組んでいることはない
補足	29	「生物多様性を守るために何も取り組んでいない」とお答えいただきましたが、その理由を一つ選んでください。 ※　No.28の質問で「取り組んでいることはない」と回答された方のみ	・経済的な負担が増えるから ・取り組むための時間がないから ・取組の効果が分からないから ・取り組みたいが、どのように取り組めばいいか分からないから ・そのような取組があることを知らないから ・そのような取組が大切だと思わないから ・自然や生きものを大切にしたいと思わないから ・その他（自由記述）

No.		設問内容	選択肢
主観（新計画）	30	ごみの減量や分別に関する情報が得られ、ごみを出さない暮らしが広がり、分別・リサイクルが進んでいると感じますか。	・そう感じる ・どちらかと言えば、そう感じる ・どちらかと言えば、そう感じない ・そう感じない ・分からない
補足	31	買い物時にマイバッグを利用するなどにより、どの程度の頻度でレジ袋を辞退していますか。	・毎回(100%)辞退している ・ほぼ毎回(90～100%程度)辞退している ・たいてい(70～90%程度)辞退している ・頻繁に(40～70%程度)辞退している ・たまに(20～40%程度)辞退している ・あまり(0～20%程度)辞退していない
補足	32	ペットボトルを減らすために取り組んでいることを全て選んでください。	・外出時にマイボトル・水筒などを携帯・使用している ・外出時に給水機やマイボトル・水筒が使用可能な店舗などで飲料水を補給している ・自宅でお茶をいれたり，水道水を飲むなどしている ・缶や瓶、紙パックなどのペットボトル以外の容器包装のものを優先的に購入している ・その他 ・取り組んでいることはない
補足	33	使い捨てプラスチックごみを減らすために取り組んでいることを全て選んでください。	・プラスチック以外の素材（紙など）のものを優先的に使用している ・詰替え用品（詰替えボトルなど）を優先的に使用している ・買い物時に使い捨てのスプーンやフォーク、ストロー、おしぼりなどを受け取らない ・量り売りや裸売りの商品を優先的に購入している ・バイオマスプラスチック素材のものを優先的に使用している ・その他（自由記述） ・取り組んでいることはない

No.		設問内容	選択肢
補足	34	食品ロス（食べ残し、手付かず食品の廃棄）をはじめとする、生ごみを減らすために取り組んでいることを全て選んでください。	・食材を使い切ることや食事を食べ切ることを心掛け、取り組んでいる ・家にある食材を確認してから買い物をしている ・買い物時に陳列棚の手前にある商品（消費・賞味期限が近い商品）を優先的に購入している（てまえどり） ・買い物時に見切り品（期限切れ間近などの商品）を積極的に購入している ・家にある食品の消費・賞味期限を定期的にチェックしている ・賞味期限を過ぎた食品でも、味や匂いに異常がなければ食べている ・不要になった食品、使い切れない食品は、フードドライブを利用するなど、必要な人に譲っている ・外食や宅配で注文する際は、量が多過ぎないかなどを確認している ・水分を切ってから生ごみを捨てている ・フードシェアリングアプリを利用し、買物している ・その他（自由記述） ・取り組んでいることはない

No.		設問内容	選択肢
補足	35	プラスチックの発生抑制や食品ロス削減等、環境によい消費行動を実施しないことがある場合、その理由を教えてください。	・家族や友人など、周囲の人の意向に合わせる必要があるから ・マイバッグ・マイボトル持参などの準備を忘れることがあるから ・時間や手間がかかるから ・費用がかかるから ・商品やサービスの選択肢が少ないから ・意識高く見えるのは嫌だから ・そのような行動があることを知らないから ・自分だけが取り組んでも効果が小さいと考えるから ・その行動に効果がないと考えるから ・その他
補足	36	リユース（再使用）について、取り組んでいることを全て選んでください。	・衣服や家具・家電、本などの定額制サービス（サブスクリプション）やレンタルを利用している ・不用になったものをフリーマーケット（ネットやアプリを含む）で他人に譲っている ・不用になったものをリサイクルショップに引き取ってもらっている ・不用になったものを知人に譲っている ・傷んだり壊れたものを修理して再使用している ・一升びんなどの再使用できる容器の製品を選び、使用後は容器を回収店舗などに返却している ・ものを大切に扱い、ごみにならないよう長く使っている ・その他（自由記述） ・取り組んでいることはない
主観（旧計画）	37	ごみを分別して出せる拠点が整っていると感じますか。	・そう感じる ・どちらかと言えば、そう感じる ・どちらかと言えば、そう感じない ・そう感じない ・分からない
補足	38	プラスチック類（プラスチック製容器包装とプラスチック製品）の分別にどの程度取り組んでいますか。（※令和5年4月から、それまで燃やすごみとして排出されていた「プラスチック製品」を、プラスチック製容器包装と一緒に資源ごみとして分別回収しています。）	・ほぼ全てを分別している ・6～8割程度分別している ・半分程度分別している ・2～4割程度分別している ・ほぼ分別していない又は全く分別していない

No.		設問内容	選択肢
補足	39	プラスチック類(プラスチック製容器包装とプラスチック製品)を分別しないことがある場合、その理由を全て選んでください。 ※本設問は、分別している人の分別しない場合の理由と、分別していない人の理由と峻別する必要があり、分別の取組状況(上記設問)とクロス集計する。	・分別対象のプラスチックごみの範囲(例:大部分がプラスチック素材であるものの範囲など)かが分からないから ・汚れをとることが面倒であるから ・どこまで汚れを落とせばよいか分からないから ・燃やすごみと別に分別して保管するスペースを取れないから ・燃やすごみと別に分別することやごみ出しすることが面倒であるから ・分別排出できる環境がない(居住しているマンションに排出場所がない)から ・分別排出場所が分からないから ・分別しなければならないことを知らなかったから ・その他(自由記述)
補足	40	充電式の電化製品(スマートフォン、モバイルバッテリー、加熱式たばこハンディ扇風機など)について、正しい排出先※への分別にどの程度取り組んでいますか。 ※販売店回収、市拠点回収、市移動式拠点回収、市大型ごみ収集、㈱リネットによる回収など。燃やすごみ、資源ごみなどの定期収集への排出は誤り。	・ほぼ全てを分別している ・6～8割程度分別している ・半分程度分別している ・2～4割程度分別している ・ほぼ分別していない又は全く分別していない
補足	41	充電式電池や小型家電を分別しないことがある場合、その理由を全て選んでください。 ※本設問は、分別している人の分別しない場合の理由と、分別していない人の理由と峻別する必要があり、分別の取組状況(上記設問)とクロス集計する。	・何が充電式電池や小型家電に該当するかが分からないから ・燃やすごみと別に分別排出することが面倒であるから ・分別排出場所が少なく、分別排出することが困難であるから ・分別排出場所が分からないから ・分別排出の方法が分からないから ・分別した方がよいことを知らなかったから ・その他(自由記述)

No.		設問内容	選択肢
補足	42	スーパー、衣料品店、家電量販店などの小売事業者が店頭で実施している資源物回収について、利用している資源物をすべて選んでください。	・食品トレイ ・牛乳パック ・缶・びん ・ペットボトル ・古紙（新聞・ダンボール・雑がみ） ・古着 ・小型家電 ・充電式電池 ・インクカートリッジ ・その他（自由記述）

No.		設問内容	選択肢
主観（新計画）	43	あなたは、京都市では喫緊の環境問題に対して、将来世代のことも考えた環境の取組が進んでいると感じますか。	・そう感じる ・どちらかと言えば、そう感じる ・どちらかと言えば、そう感じない ・そう感じない ・分からない
補足	44	将来世代のことも考えた環境の取組を進めていくために、最も必要であることを1つ選んでください。	・若い世代の意見を聞く ・若い世代が取組の意思決定に加わる ・将来実現していくまちの姿を明確にする ・将来起こりうる課題を共有する ・将来世代のことを考える必要はない ・その他
主観（新計画）	45	あなたは、京都は環境を考えた経営・取組を行う企業を評価するまちになっていると感じますか。	・そう感じる ・どちらかと言えば、そう感じる ・どちらかと言えば、そう感じない ・そう感じない ・分からない
新計画	46	企業が環境に配慮した取組や経営を行うとともに、そのことを評価する社会に変わっていくために、必要と思うことを3つまで選んでください。	・企業からの情報発信 ・先進的な企業の取組の紹介 ・エシカル消費の普及 ・消費者向けの意識啓発 ・製品・サービスについてのラベリング制度の導入 ・市民団体等による企業の評価の促進 ・条例などによる企業への規制 ・その他（自由記述）

No.		設問内容	選択肢
主観（新計画）	47	あなたは、京都に来る観光客が、京都の環境を良くすることに貢献したり、京都の環境の魅力を高めるための役割を担っていると感じますか。	・そう感じる ・どちらかと言えば、そう感じる ・どちらかと言えば、そう感じない ・そう感じない ・分からない
	48	京都のまちは清潔に保たれていると感じますか？	・大変清潔である。・おおむね清潔である。・清潔である。・どちらともいえない。・あまり清潔ではない。・清潔ではない。・全く清潔ではない。

No.		設問内容	選択肢
新計画	49	京都を訪れる観光客に対して、観光客に知ってほしい、取り組んでほしいことは何ですか。	・ごみをポイ捨てしない ・ごみを持ち帰る ・食事を残さない（食品ロス削減） ・マイボトルの持参 ・ごみを持ち帰る文化があることを知ってほしい ・京都の自然環境について知ってほしい ・京都議定書誕生の地としての地球温暖化の取組について知ってほしい ・京都のごみ減量の取組について知ってほしい ・その他（自由記述）
補足	50	京都議定書誕生の地である京都市は、国内や海外の他都市との連携を深めながら地球温暖化対策に先駆的に取り組んでいます。この取組についてあなたのお考えにあてはまるものを全て選んでください。	・これまでと同様に他都市と連携して、地球温暖化対策を進めてほしい ・他都市が行っている地球温暖化対策を、京都市でも取り入れてほしい ・京都市の地球温暖化対策をもっといろんな都市に広げてほしい ・他都市との連携は必要であるが、京都市内での地球温暖化対策をもっと進めてほしい ・その他（自由記述）
主観（新計画）	51	あなたには、楽しみながら前向きに取り組んでいる「環境によいこと」がありますか。	・健康のため、徒歩（散歩）や自転車等（CO2を排出する乗物を利用しない）による移動 ・地域交流を通した清掃活動 ・スポGOMI、植林・植樹等の環境イベント参加 ・家庭菜園（フードロス削減） ・不要になった衣類等でオリジナルマイバッグの作成 ・楽しみながら前向きに取り組んでいることはない ・「環境によいこと」には何も取り組んでいない ・その他（　　）
補足	52	あなたが環境によい行動を実践される動機（理由）として、一番大事なものを教えてください。	・ルールであるかどうか ・楽しいかどうか ・得になるかどうか ・手間かどうか ・みんながやっているかどうか ・自らの行動規範に合致しているかどうか ・将来世代のためかどうか ・その他

No.		設問内容	選択肢
主観（新計画）	53	あなたは、エシカル消費を心がけていますか。 ※エシカル消費の簡単な説明が必要	・心がけている ・どちらかと言えば、心がけている ・どちらかと言えば、心がけていない ・心がけていない ・分からない
補足	54	買い物をする時や不用になった時に、意識していることを全て選んでください。	・地元の野菜や地域産の木材でつくられたものを選んで買う ・旬の食材を買う ・エコマーク、省エネラベル、持続可能な森林経営、化学物質に頼らない食品などの環境ラベルを見て買う ・環境に配慮したサービス（地元の野菜を利用したメニューを提供する飲食店など）を利用する ・障がい者支援につながる商品を選んで買う ・フェアトレード商品や寄付付き商品を選んで買う ・人や社会、環境に配慮したものか気にせずに、安全・安心なものや品質が良いものを買う ・人や社会、環境に配慮したものか気にせずに、お得なものを買う ・宅配の荷物が再配達にならないようにしている ・不用になったものを資源物回収（リユース・リサイクル）に出している ・その他（自由記述）
補足	55	環境学習や環境保全活動への参加について、あてはまるものを全て選んでください。	・通っている学校や会社などで、環境に関する授業・研修（オンラインを含む。）に参加した ・環境に関する講習会、シンポジウム（オンラインを含む。）に参加した ・自然観察会など、野外体験型のイベントに参加した ・環境学習施設（京エコロジーセンター、さすてな京都）を見学をした ・環境保全活動（森林整備活動、清掃活動など）に参加した ・環境問題に関する情報をテレビや新聞、Webサイトで知った ・自治会や趣味の集まりなどのグループで、環境学習や環境保全活動に参加した ・関心はあるが、参加したことがない ・関心はなく、参加したことがない ・その他（自由記述）

No.		設問内容	選択肢
補足	56	環境についての情報について、この1年間で見たり聞いたりしたことのあるものをすべて選んでください。	・気候変動・地球温暖化 ・資源の枯渇・ごみ問題 ・生物多様性・自然 ・環境学習・環境教育 ・消費行動(エシカル消費) ・その他
補足	57	その情報は、どのような媒体で見たり聞いたりしましたか。あてはまるものをすべて選んでください。	・書籍・雑誌 ・テレビ・ラジオ ・新聞 ・webサイト(ホームページ) ・SNS・メールマガジン ・博物館・動物園 ・商業施設 ・公共施設(環境学習施設) ・セミナー・講演・授業 ・フィールドワーク ・口コミ(家族・友人) ・その他